

ちやうちやう

※ 5 領域の視点

「健康・生活」

看護師による食事等の介助から、食事の様子や健康状態の把握を行う。また自身での食事が可能な場合には、適宜スタッフが指導し食事等に関する技能を身につけられるよう支援を行う。

「運動・感覚」

理学療法士等による指導の元、姿勢保持や健康維持のために種々の機能訓練を行う。

「認知・行動」

主に感覚遊びを通して、様々な物に触れたり感じたりして、知覚機能が発達するよう支援を行う。

「言語・コミュニケーション」

意思を伝える手段として言語だけでなく、身振り手振りで意思を伝えられるように適宜指導を行う。

「人間関係・社会性」

介助などの支援を通して、支援者との関係性を構築し、より適切な支援を受けられるよう支援を行う。